

愛知県の多文化共生社会実現に向けた取組

— 2025年度 —



社会活動推進課多文化共生推進室

あいち地域日本語教育推進センターの運営

- ・2020年4月「あいち地域日本語教育推進センター」を多文化共生推進室内に設置
- ・2022年3月に策定した「愛知県地域日本語教育の推進に関する方針」に沿って、関係機関と連携しながら、市町村が主体となった地域日本語教育を総合的・体系的に推進

◆運営体制

センター長：多文化共生推進室長

総括コーディネーター2名、地域日本語教育推進員1名、地域日本語教育コーディネーター10名

◆主な事業

①「初期日本語教室」モデル事業の実施

日本語がほとんどわからない大人の外国人県民を対象にした「初期日本語教室」のモデル事業及び「指導者養成講座」を実施

【2025度実施市】碧南市、東海市

③地域日本語教育関連事業を実施する市町村への助成

地域の日本語教育関連事業を実施する市町村等に事業費の1／2を助成

【2025年度交付団体】28団体

②オンライン日本語教室の実施

地域の日本語教室に通うことができない外国人県民を対象

【第1期】1クール9回 参加延べ人数102人

【第2期】1クール9回 参加延べ人数122人

④多文化共生日本語スピーチコンテストの開催

〈本選〉2025年8月23日 愛知県図書館
参加者 187人

〈入賞者〉20人（応募者314人）

「初期日本語教室」等のモデル事業

**初期日本語教育の愛知モデルである“あいち初期日本語教育プログラム”をつくり、
地域での外国人受入れのための社会的な基盤づくりを目指しています。**

○日本語がほとんど話せない外国人県民が簡単な日常会話やひらがななど基本的な日本語を学ぶ
「初期の日本語教室」を、市町村や地域のボランティアの日本語教室と連携して実施。

希望のあった市町村の日本語教育の実施状況や地域バランス等を考慮して2～3市を選定。

○初期日本語教室と並行して、指導者となる人材の養成講座も実施。



「はじめての日本語教室」では参加者が交流しながら、外国人住民は日本語を、日本人住民はコミュニケーション方法を学びます。



「指導者養成講座」では多文化共生につながる日本語教室での支援を学びます。

2025年「初期日本語教室」モデル事業 実績

	初期日本語教室	指導者養成講座
碧南市	期 間：【第1期】2025年9月20日(土)～11月15日(土) 【第2期】2025年12月7日(日)～2026年2月15日(日) 回 数：全17回 ※第1期 1回2時間半(14:00～16:30)、 第2期 1回2時間半(14:00～16:30) 参加者：58名	期 間：2025年8月23日(土) ～2026年2月22日(日) 回 数：全13回(計30時間) 受講者：19名
東海市	期 間：【第1期】2025年8月30日(土)～11月1日(土) 【第2期】2025年11月22日(土)～2026年1月31日(土) 回 数：全16回 ※1回2時間半(13:30～16:00) 参加者：48名	期 間：2025年8月2日(土) ～2026年2月7日(土) 回 数：全11回(計30時間) 受講者：26名

★初期日本語教育に取り組む市町村数 16市町村
 (うち2024年度までに取り組んだ市町村数 14市町村)

★初期日本語教育指導者養成講座の修了者数 228人
 (うち2024年度までの修了者数 199人)

多文化共生情報の発信

<トップページ>

ウェブサイト「あいち多文化共生ネット」

<概要>

外国人県民に分かりやすく情報を発信するため、「あいち多文化共生ネット」の改修を継続

<https://www.pref.aichi.jp/syakaikatsudo/tabunka/>



<2025年度の改修点>

・「やさしい日本語」自動変換・カナルビ付記・読み上げ機能を追加

対応言語：13言語＋やさしい日本語（英語、ポルトガル語、中国語（簡体字）、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、韓国語、ミャンマー語、ロシア語、ウクライナ語）

・レイアウトを視認性の高いものに変更

ピクトグラムをトップに配置し、直感的、感覚的に情報に到達しやすくなるように改善

★2025年度ポータルサイトアクセス数 736,806件

（参考）2024年の実績：635,153件

★2025年度ポータルサイトで情報発信した地域の交流イベント件数 26件

（参考）2024年の実績：23件



<やさしい日本語版>



多文化子育てサロンの普及

「子育てサロン」とは…

乳幼児を育てる外国人県民が、日本人親子との交流の中で、子育てに必要な情報を得るとともに、子どもに言葉を教えるポイントなどを学ぶ拠点

【2025年度実績】

普及説明会の開催

開催日：2026年1月30日（金）

参加者：40名

内 容：

- ①基調講演「就学前の子どもを育てる外国人を巡る現状と課題について」
- ②「多文化子育てサロン」実施団体による事例報告
- ③意見交換会（グループワーク）

★「子育てサロン」設置数 19市町20箇所（2025年度末）

2025年 設置地域（19市町）	
名古屋市	江南市
岡崎市	新城市
半田市	大府市
春日井市	知立市
津島市	高浜市
碧南市	岩倉市
豊田市	長久手市
安城市	大治町
西尾市	武豊町
犬山市	

愛知県多文化共生シンボルキャラクター
タコスくん



社会保険制度（年金・医療・介護）への理解促進

①県の取組

ウェブサイト「あいち多文化共生ネット」を通じた情報発信・情報提供

- ・愛知県国際交流協会が年金・福祉・介護・医療等の生活情報をまとめ、5言語で作成した『愛知生活便利帳』を掲載
- ・2026年8月「相談員のための多文化ハンドブック 社会福祉編＝高齢期＝」を掲載
- ・日本年金機構や県関係課室、各市町村の相談窓口へのリンク、各種リーフレットの掲載

②市町村の取組

★外国人県民に対して社会保険制度の理解促進に取り組む市町村数：51市町村

- ＜主な取組内容＞
- ・各国語でのリーフレットの配布や多言語でのWEB掲載
 - ・窓口での母国語での案内（通訳、多言語翻訳機など）
 - ・愛知県作成の多言語に対応したリーフレット等の活用 など



介護保険説明リーフレット
『KAIGO HOKEN』（2020年）

日本語、ポルトガル語、中国語、
フィリピン語、韓国・朝鮮語、
英語（6言語）



生活設計支援冊子
『知って安心！あなたの未来と
お金のまるっとガイドブック』（2019年）

日本語、ポルトガル語、中国語、
フィリピン語、ベトナム語、
スペイン語、英語（7言語）

防災対策の推進

愛知県災害多言語支援センターの運営

1 概要

災害時の外国人支援の在り方や愛知県災害多言語支援センターの役割の周知等を行うとともに、県内市町村等と連携・協力し、外国人県民の状況を的確に把握し、情報を集約・発信する連携体制を整備する。

2 内容

(1) センター設置訓練等

市町村等と連携し、様々な事態を想定したセンター設置訓練を実施するとともに、ウェブページでの情報発信の充実をはかった。

(2) 災害時外国人支援活動講座

2025年度は半田市と共催で市町村職員等を対象に開催し、避難所運営訓練を実施。

(3) ポケットガイド

外国人県民が平時から災害に備え、発災時の迅速な避難行動につなげるため、防災の基本情報を多言語でまとめた。



あいち多文化防災 ポケットガイド

【作成言語】

日本語、英語、中国語、
ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語



★市町村の取組状況

避難所における外国人対応の準備に取り組む市町村数 37市町村

〈主な取組内容〉 ・案内書面の多言語対応 ・多文化防災ガイドの配布 ・災害コールセンターの設置 など
・発災時に多言語での情報発信の備えがある市町村 24市町村

あいち医療通訳システムの運営

1 概要

医療機関等の依頼に応じて通訳派遣や電話通訳等を行う「あいち医療通訳システム」を運営するとともに、県内外の大学等と連携して医療通訳者を養成



2 内容

◆運営主体

あいち医療通訳システム推進協議会

構成員：愛知県、54市町村、医療関係団体、大学、計63団体

事務局：愛知県（多文化共生推進室）

★利用登録機関数：173機関（2026年3月末現在）

◆対応言語

通訳派遣・文書翻訳：12言語対応

電話通訳：7言語対応

◆通訳者登録数

326名（2026年3月末現在）

【2025実績】

通訳派遣 1092件

電話通訳 117件

文書翻訳 151件

3 ウェブサイト

・2022年度 リニューアル

・2024年1月 多言語に対応

新たに、中国語（簡体字・繁体字）、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語及びベトナム語の5言語に対応（既存の日本語及び英語とあわせて7言語に対応）



<トップページ>



4 利用者・登録機関拡大に向けた取組

国際交流イベントや外国人向けの雑誌への掲載、医療機関向け説明会等

多文化共生の理解促進

1 あいち多文化共生月間

毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、県民の皆様の多文化共生への理解促進に向けて、重点的に取り組む。

月間中に県内で開催される関連イベントの情報を取りまとめ、愛知県のウェブページやフェイスブックでの告知を行う。

〈2025年度 ウェブサイトで紹介したイベント件数〉 26件

2 多文化共生フォーラムあいち

多文化共生月間の取り組みのひとつとして、県の主催で毎年開催している。

〈2025年度 開催実績〉

日 時：2025年11月24日（月・振休）午後2時30分～午後4時30分

会 場：半田市福祉文化会館（瀧上工業雁宿ホール）

テ ー マ：外国人と日本人がともに育む未来

出 演：ヴィトル氏（タレント）、浦野莉恵氏（フリーアナウンサー）、
川野オチラ氏（半田市多文化キーパーソン）、ロドリゲスルカ
ス・ブレンダ夫妻（ブラジルコミュニティインフルエンサー）

参加者数：98人

3 多文化共生出前講座

〈2025年度 開催実績〉 16回



＜あいち多文化共生月間のチラシ＞



＜多文化共生フォーラムあいち＞

留学生の活躍促進

1 あいち外国人留学生フェスタ2026

〈開催実績〉

開催日 : 2026年3月14日(土) 会場: ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)

参加者数: 留学生269名 出展企業34社

2 留学生インターンシップ

〈開催実績〉

実施日 : 2025年8月1日から9月30日まで

エントリー数: 留学生135名 企業51社



〈あいち外国人留学生フェスタ〉

★県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数: 約1,700人(2024年出入国在留管理庁公表数値からの推計)

《多文化共生推進室》

ウェブサイト

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka>



facebook

<https://www.facebook.com/100449016173666/>

